

～災害時の対応編～

奈良県北部で地震が発生し、多くの被害が出た。

自衛隊等による人命救助は一段落したが、市民は避難所生活が続き疲れが見え始めている。

それほど大きな被害を受けなかったあなたは、「奈良市災害ボランティアセンター(以下、災害VC)」というものが設置されていることを知り、被災者への支援で何か手伝えることはないかと尋ねてみることにした。

【問題 A】 災害 VC にて

あなたは何かできることがあればと災害 VC に向かいました。

次の選択肢のうち、不適切なものを一つ選んでください。

- ① 仕事仲間とたまたま休日が重なったので、電話連絡や予約なしに仲間と数人で災害 VC へ向かった。
- ② 家族も何かお手伝いしたいと言ったので、妻と中学生の子どもを連れて災害 VC に向かった。
- ③ 何かの役に立つのではないかと思い、仲間から集めた衣類や布団などの救援物資を積んで軽トラに乗って災害 VC に向かった。
- ④ 気温や湿度が高くなり暑い一日になるとの予報だったが、何かのマニュアルに書いてあったので、長袖、長ズボンなど露出の少ない恰好で災害 VC に向かった。

【問題 B】 高齢夫婦の被災者宅にて

高齢夫婦のお宅の片付けに行くことになり、あなたは仲間5人のグループのリーダーをすることになりました。次の選択肢のうち、リーダーとして適当でない行動を一つ選んでください。

- ① 被災者宅に到着するとかなりの被害の様子が伺えた。被災地の現状を知ってもらいたいと思い、被災者に許可を得て写真を撮り、自身のフェイスブックにアップした。
- ② 家中に散らばった瓦礫の撤去という依頼を聞いていたが、ちょっと歩いたところにある畑の片付けも頼まれた。手が空いているメンバーもいたので、畑の片付けも手伝った。
- ③ 時折手を止めて被災者とおしゃべりをしているメンバーがいたので、チームワークが乱れないよう注意し、片付け作業に専念してもらいたい旨を伝えた。
- ④ 気温が暑かったこともあり、水分補給を常に促すとともに休憩回数や時間を多くとった。そのためもあり活動時間内に依頼内容を終わらせることができなかった。